|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 寄せられた意見の概要 | 市の考え方 |
| 1 | 免許返納者が増えたことで活動場所まで行けない方が増え、市体育館や野球場で実施している軽スポーツの参加者が減少している。スクールバスの空き時間を利用することはできないか。また、豊里ニュータウン線の昼間の便数を増やすことはできないか。 | 利用者の減少などにより増便は困難と考える。また、バス事業者からは、運転手不足や運転手の高齢化などの課題が生じている現状や、2024年4月の自動車運転者の労働時間等の改善のための基準改正に対応するため、運行維持のための人員確保が課題であると聞いている。  バス事業者においても、採用活動を広く展開し、運転手不足の解消を目指しているが、すぐに解決する問題ではない。  運転手不足などにより現状の運行本数を維持することが困難な一部の路線については、利用者が少ない便を中心に減便する方針であることも聞いている。将来に向けた利便性の確保のため、バス事業者の取組を十分に理解して連携していくとともに「公共交通はあって当然ではない。みんなで利用して残す。」という意識を市民の皆様に持っていただけるよう各種取組を進めていく。  スクールバスの空き時間利用は、契約上できない。運行便数を増やすと追加の財政負担が生じることになり、対応は困難と考える。 |
| ２ | 銚子市立地適正化計画（案）と突合した検討が必要と思う。 | この計画の期間が5年間であるのに対し、立地適正化計画は20年間の長期計画である。計画期間の違いから部分的に捉え方が異なる部分があるが、相互に整合するよう調整している。 |
| ３ | ニーズ調査は交通弱者に絞った調査が望ましい。 | 利便性の高い公共交通を確保するためには、多くの方に利用してもらうことが必要である。ニーズ調査は交通弱者に限らず、様々な方の意見を聞くことで、誰もが利用しやすい公共交通を実現したいと考えている。 |
| ４ | 豊里ニュータウン線の市立病院のまでの延伸を一日も早く実現することを願っている。 | 路線延長の要望は運行事業者に伝えている。路線延長の認可には、安全性などの検証に時間を要することが想定される。多くの市民の方から要望があることから、早期に実現するよう事務を進めていく。 |
| ５ | 公共交通の課題、現状等抽出ができているが、それに対しての施策・事業の具体性がない。他市の事例等を掲載すると意見が出やすいと思われる。課題等が解決できるような具体性を持った計画になることを希望する。 | 施策・事業として検討事項になっている項目は、今後も、地域公共交通協議会で議論を進めていく。施策・事業の検討を進めていく際には、他市の事例を参考にしながら、銚子市の現状に即したサービスの導入を検討していく。 |